

認定看護師教育課程感染管理分野（B課程） の概要について

長野県看護大学 看護実践国際研究センター
認定看護師教育課程 感染管理分野

Nagano College of Nursing



これまでのカリキュラム（A課程）の目的

1. 医療を提供する場で働くあらゆる人々及び患者とその家族に対し、専門的知識と高度な技術に基づいて医療関連感染の予防と管理を**実践**できる能力を育成する。
2. 医療を提供する場で働くあらゆる人々及び患者とその家族に対し、医療関連感染の予防と管理について**指導**できる能力を育成する。
3. 医療関連感染の予防と管理について、医療を提供する場で働くあらゆる人々及び患者とその家族からの**相談**に対応し、問題解決に向けた支援ができる能力を育成する。

Nagano College of Nursing



B課程におけるカリキュラムの目的

1. 感染管理分野において、個人、家族及び集団に対して、医療関連感染予防のための高度な管理力及び高い臨床推論力と病態判断力に基づき、熟練した看護技術及び知識を用いて水準の高い看護を実践できる能力を育成する。
2. 感染管理分野において、看護実践を通して看護職に対し指導を行える能力を育成する。
3. 感染管理分野において、看護職等に対しコンサルテーション（相談）を行える能力を育成する。
4. 感染管理分野において、多職種と協働しチーム医療のキーパーソンとしての役割を果たせる能力を育成する。

Nagano College of Nursing



感染管理認定看護師に期待される能力

1. 施設及び地域の状況を評価し、医療関連感染予防・管理システムを組織的かつ戦略的に構築し推進することができる。
2. 施設の状況にあわせた医療関連感染サーベイランスを実践できる。
3. 感染リスクの高い患者あるいは感染徴候のある患者を多角的に捉え、臨床推論力と病態判断力に基づいた実践により、感染症の進行や重症化を予防し回復を促進することができる。
4. 感染管理分野において役割モデルを示し、看護職への指導、看護職等へのコンサルテーションを行うことができる。
5. より質の高い医療を推進するため、多職種と協働し、チーム医療のキーパーソンとして役割を果たすことができる。
6. 医療等を提供する場で働くあらゆる人々や患者とその家族に対し、倫理的配慮を行いながら医療関連感染予防と管理、抗菌薬の適正使用等における実践ができる。

Nagano College of Nursing



コアとなる知識・技術

1. 施設および地域の医療関連感染の予防・管理システムの構築のための知識・技術
2. 医療関連感染の予防と管理に関する科学的根拠を評価し、ケアの改善に活用するための知識・技術
3. 医療関連感染サーベイランスの計画立案・実施・評価のための技術
4. 身体所見を病態判断し、感染徴候がある者に対する薬剤の臨時的投与ができる知識・技術

Nagano College of Nursing



A課程

教科目一覧		教科目名	必修/選択	単位数	時間数
共通科目	1. 医療安全学:医療倫理	必修	15		
	2. 医療安全学:医療安全管理	必修	15		
	3. 医療安全学:看護管理	必修	15		
	4. チーム活動論(特定行為実施)	必修	15		
	5. 相談(特定行為実施)	必修	15		
	6. 臨床薬理学:薬理作用	必修	15	小計	
	7. 免疫	必修	15	165	
	8. 特定行為実習	選択	15		
	9. 臨床薬理学:薬物動態	選択	15		
	10. 臨床薬理学:薬物治療・管理	選択	30		
	11. 臨床病態生理学	選択	40		105 (+300)
	12. 臨床病態論	選択	45		
	13. 臨床病態論:医療面接	選択	15		
	14. フジカルアセスメント:基礎	選択	30		
	15. フジカルアセスメント:応用	選択	30		
	16. 病状・臨床病態論	選択	40		
	17. 病状・臨床病態論:状況別	選択	15		
	18. 医療倫理論	選択	15	小計	
	19. 対人関係	選択	15	265	
専修科目	1. 感染生理学	必修	15		
	2. 疫学と統計学	必修	30		
	3. 微生物学	必修	15		
	4. 感染症学概論	必修	15	小計	
	5. 感染症学論	必修	30	120	240
	6. 医療管理学	必修	15		
専門科目	1. 医療関連感染サーベイランス概論	必修	15		
	2. 医療関連感染サーベイランス各論	必修	30		
	3. 感染防止技術	必修	15		
	4. 職業感染管理	必修	15	小計	
	5. 感染管理指導と相談	必修	15	120	270
学内実習	学内実習	必修	90		
	臨床実習	必修	180	小計	270
総時間数				615 (+300)	

B課程

教科目一覧		教科目名	単位数	時間数*
共通科目	1. 臨床病態生理学		40	
	2. 臨床病態論		45	
	3. 臨床病態論:医療面接		15	
	4. フジカルアセスメント:基礎		30	
	5. フジカルアセスメント:応用		30	
	6. 臨床薬理学:薬物動態		15	
	7. 臨床薬理学:薬理作用		15	
	8. 臨床薬理学:薬物治療・管理		30	
	9. 病状・臨床病態論		40	380
	10. 病状・臨床病態論:状況別		15	
	11. 医療安全学:医療倫理		15	
	12. 医療安全学:医療安全管理		15	
	13. チーム活動論(特定行為実施)		15	
	14. 特定行為実習		15	
	15. 相談		15	
	16. 免疫		15	
	17. 看護管理		15	
専修科目	1. 感染生理学		15	
	2. 疫学・統計学		30	
	3. 微生物学		30	
	4. 医療関連感染サーベイランス		45	
	5. 感染防止技術		30	195
	6. 職業感染管理		15	
	7. 感染管理指導と相談		15	
	8. 洗浄・消毒・滅菌とファンジリア・マネジメント		15	
	9. 実業及び60分管理に係る薬剤投与関連		22	
専門科目	1. 実業及び60分管理に係る薬剤投与関連		22	
	2. 感染に係る薬剤投与関連		39	
学内実習	学内実習		90	61
	臨床実習		180	
総合演習				15
臨床実習				150
合計時間数				801

* 認定看護師教育基準がキレムでは45分を1時間とみなす「みなし時間」を適用している。特定行為研修は60分として「実時間」を適用しているが、該当教科目の時間数は全て「みなし時間」で設定・表記している。

Nagano College of Nursing



臨地実習

【認定看護分野】 150時間

【特定行為区分】 8日程度

※原則として連続する6週間程度の期間に2種の実習を実施する

※特定行為区分の臨地実習は、派遣元病院で受けることも可能（その場合には派遣元病院を本教育課程の協力施設とするための申請が必要となる）

Nagano College of Nursing



特定行為区分別科目について


栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連

特定行為名	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整
行為の内容	医師の指示のもと、手順書により、身体所見（食事摂取量、栄養状態等）及び検査結果等が医師から指示された病状の範囲にあることを確認し、持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整を行う。
実習目標	・身体所見及び検査結果等が医師から指示された病状の範囲にあることを確認できる。 ・持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整の必要性を判断し、治療計画が立案できる。
症例数	5例以上
特定行為名	脱水症状に対する輸液による補正
行為の内容	医師の指示のもと、手順書により、身体所見（食事摂取量、皮膚の乾燥の程度、排尿回数、発熱の有無、口喝や倦怠感の程度等）及び検査結果（電解質等）等が医師から指示された範囲にあることを確認し、輸液による補正を行う。
実習目標	・身体所見及び検査結果等から医師から指示された病状の範囲にあることを確認できる。 ・脱水症状に対する輸液による補正の必要性を判断し、治療計画が立案できる。
症例数	5例以上

Nagano College of Nursing




感染に係る薬剤投与関連	
特定行為名	感染がある者に対する薬剤の臨時の投与
行為の内容	医師の指示の下、手順書により、身体所見（尿混濁の有無、発熱の程度等）及び検査結果等が医師から指示された病状の範囲にあることを確認し、感染徴候時の薬剤を投与する。
実習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・身体所見（尿混濁の有無、発熱の程度等）及び検査結果等が医師から指示された病状の範囲にあることを確認できる。 ・感染徴候時の薬剤投与の必要性を判断し、投与案が立案できる。
症例数	5例以上

Nagano College of Nursing 

受講スケジュール										
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
共通科目	→									
専門科目			→							
特定区分別科目		→								
統合演習							→			
臨地実習						→		→		
行事	開講式				実習説明会				実習報告会	閉講式

※ 共通科目は概ねeラーニングによる受講（月に数日程度の登校日を設ける）

Nagano College of Nursing 

eラーニングの進め方

6月～8月末までを第1期から第6期に分け、
それぞれの期間において、指定された科目を視聴

視聴場所は問わない
(自宅、所属施設等)

土、日、祝日を除く平日に **5～5.5時間**程度の視聴

各期の終了日までに該当科目について、eラーニング上の確認テストを受け、合格することが修了条件。その後、登校日に視聴した内容についての筆記試験を受け、合格（得点率6割以上）する必要がある。

Nagano College of Nursing



本教育課程の特徴

- ・学内に課程専用の講義室(2部屋) が用意されている
- ・学内に微生物実験室があり、微生物実験に必要な器材等が整備されている
- ・学内には微生物学をはじめとし、関係分野の専門家がおり、いつでもアドバイスを受けることが可能である
- ・大学図書館には、受講生の学習に役立つ書籍・雑誌等が用意されている

Nagano College of Nursing

